

同志社大学 一神教学際研究センター  
京都ユダヤ思想学会  
共催

公開講演会

ユダヤ人と旧ソ連の記憶：  
文学、宗教の交差

講 師

ヤコブ・ラブキン  
(モントリオール大学 歴史学 教授)

日 時

2008年12月2日(火) 午後1時10分～4時15分

場 所

同志社大学 今出川校地 クラーク記念館2階 クラーク・チャペル

お問い合わせ

同志社大学一神教学際研究センター (CISMOR)

TEL: 075-251-3972 E-mail: info@cismor.jp HP: <http://www.cismor.jp/>

## 《プログラム》

司会 手島 勲矢 (同志社大学 神学部 教授)

13 : 10 ~ 13 : 15 開会の挨拶  
勝村 弘也 (神戸松蔭女子学院大学 教授、  
京都ユダヤ思想学会 会長)

13 : 15 ~ 14 : 50 講演  
「無神論者としてのユダヤ人の創出：ロシア、その他」  
ヤコブ・ラブキン (モントリオール大学 歴史学 教授)  
Yakov Rabkin, professeur d'histoire, Université de Montréal,  
"L'invention du juif athée : la Russie et ailleurs"

解説&フランス語通訳：菅野 賢治 (東京理科大学 教授)

14 : 50 ~ 15 : 00 休憩

15 : 00 ~ 15 : 30 コメント  
「ロシアにおけるユダヤ人 文学・芸術の観点から」  
沼野 充義 (東京大学 ロシア文学 教授)

15 : 30 ~ 16 : 10 ディスカッション  
ヤコブ・ラブキン (モントリオール大学 歴史学 教授)  
菅野 賢治 (東京理科大学 教授)  
沼野 充義 (東京大学 ロシア文学 教授)

16 : 10 ~ 16 : 15 閉会の挨拶  
森 孝一 (同志社大学 神学部 教授、  
同志社大学 一神教学際研究センター長)

## 《講師紹介》

### ヤコブ・ラブキン

1945年生まれ、旧ソ連、レニングラード（現サンクト＝ペテルブルグ）生まれ。

レニングラード国家大学で化学ならびに東洋学を専攻。ソ連科学アカデミー（モスクワ）で科学史のカンディダート・ナウクを取得する。

使用言語：ロシア語、ヘブライ語、フランス語、英語、スペイン語。

1973年以来、カナダ、モンリアル（モントリオール）大学歴史学科に専属し、アメリカ、フランス、イスラエルの各大学で客員教授を歴任。

科学史（とりわけSTSの観点から）、ロシア史、ユダヤ史を講ずる。既刊書に『超大国間の科学』（1988）、『近代における科学文化とユダヤ文化の相互作用』（1995、アイラ・ロビンソンとの共編）、『ポスト共産主義世界における新技術の普及』（1997）があり（いずれも未邦訳）、その他、研究論文の主題は広範多岐にわたる。

近著『トーラーの名において ユダヤ教内部からのシオニズムに対する抵抗の歴史』（フランス語、2004）は、英語（2006年、カナダ総督賞受賞）、アラビア語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語訳に訳され（ヘブライ語、ロシア語、中国語、トルコ語、インドネシア語への翻訳も進行中）、世界各地で反響を呼んでいる。